

第56期

中間報告書

自 平成13年12月1日
至 平成14年5月31日



ヤマト インターナショナル株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに、当社第56期中間報告書（平成13年12月1日から平成14年5月31日まで）をお届けするにあたり、その概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、金融、流通業界をはじめ各産業界の再編が一段と進み、新しい時代への兆しが見られたものの、相変わらず企業の業績は低迷し、失業率の悪化、物価・株価の下落など、依然として厳しい状況が続きました。

当業界におきましても、冷え込んだ個人消費が影響し、経営破綻する企業が後を絶ちませんでした。後半に入り、デフレ傾向にも一部底入れ感が感じられましたが、業界全体としては引き続き厳しい環境となりました。

このような状況のもと当社では、「顧客起点のビジネス」と「ローコスト経営」を経営方針とし、株主価値・社員価値・商品価値を創造できる企業を目指してまいりました。

顧客起点のビジネスでは、消費動向を把握し、ニーズに応じた商品を提供することで、顧客満足の実現を目指しております。そのため、自主管理型売場へ導入した店頭支援システムを活用して、販売データの分析と需要予測を行い、商品を短期間で生産・投入する努力をしてまいりました。このような顧客起点ビジネスの中核を為す直営店は、効率性を考慮してスクラップ&ビルドを行っており（当中間期は10店舗出店し、2店舗退店）現在52店舗となっております。

ローコスト経営の点では、前期に行いました物流の一元化によって、コストの削減効果が出てきております。また、19店舗のアウトレット直営店での在庫処分や計画販売による在庫コントロールによって、期末在庫は内容改善と同時に大幅に圧縮することができ、収益性の向上につながりました。

ブランド別では、「クロコダイル」が郊外型ショッピングセンターを中心に自主管理型売場を拡充し、「エーグル」もバッグなどの雑貨やレディスライン「エーグル・ファム」が好調に推移したことで、売上は安定した伸びを示しました。また、ニュートラッド・カジュアルの「ユニバーシティ・オブ・オックスフォード」やトレンド型ヤングカジュアル「ヒロミチ・パイ・ヒロミチ・ナカノ」「グロウベック」「ノーコンセプト・バット・グッドセンス」が、店頭データに基づく商品供給を行ったことにより、大きく売上を伸ばしました。

部門別では、前述しましたブランドの売上拡大が影響して

各部門とも好調に推移しましたが、特にレディス、アウトター、横編セーターが大きな伸びを示しました。

この結果、売上高は87億5千9百万円（前年同期比7.6%増）と6期ぶりの増収となり、利益面では、店頭を重視したブランドが健闘したことや、製品原価率の低減に努めたこと、アウトレット直営店において効率的な販売を行ったことなどにより、売上総利益率が0.9ポイント改善し、経常利益は2億6千2百万円となりました。ただし、投資有価証券評価損2億8千5百万円を特別損失として計上しておりますので中間損失5千1百万円となりました。

下期につきましては、依然として厳しい状況が続くものと思われませんが、当社といたしましては、引き続き「顧客起点のビジネス」と「ローコスト経営」を推進し、安定した収益を確保できる企業を目指してまいります。

販売面では、ファミリー型ブランドを一層充実させてまいりますが、特に「クロコダイル」におきましてはこの秋から「クロコダイル・レディス」を本格導入することにより、「エーグル」とともに基幹ブランドとしての強化をしてまいります。また、トレンド型ブランドに関しましては、よりマーチャンダイジングの精度を向上させ、効率的かつ機動的なブランド運営を心掛けていく所存でございます。

経費面では、自主管理型売場の拡大に伴い、経費の増加が見込まれますが、各売場毎に徹底した効率運営を心掛け、経費全体の削減に努めてまいります。また、在庫に関しましては自主管理型売場での販売効率を高め、かつ、アウトレット直営店の有効利用により、更なる圧縮を目指し、キャッシュ・フローの改善努力をしてまいります。

通期の業績につきましては、売上高175億円、経常利益4億5千万円、当期利益は1億円を見込んでおります。

なお、中間配当につきましては、遺憾ながら見送らせていただきますが、期末には1株当たり2円の配当を予定しております。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年8月

取締役社長 坂井 隆

中間貸借対照表 (平成14年 5月31日現在)

(単位：千円)

期別 科目	前期中間 (平成13年5月31日現在)	当期中間 (平成14年5月31日現在)	前期末 (平成13年11月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	8,880,037	9,714,754	9,832,997
現金及び預金	904,799	1,288,988	1,019,623
受取手形	693,478	677,427	858,638
売掛金	2,923,762	2,838,960	3,064,475
有価証券	1,330,687	2,122,816	1,748,998
棚卸資産	2,703,496	2,314,071	2,624,351
その他	356,935	530,390	558,288
貸倒引当金	33,122	57,900	41,379
固定資産	16,035,939	15,248,323	15,457,772
有形固定資産	12,045,893	11,780,842	11,864,559
建物	3,922,678	3,682,386	3,761,020
土地	7,935,910	7,935,910	7,935,910
その他	187,304	162,544	167,627
無形固定資産	42,645	38,231	39,112
投資その他の資産	3,947,399	3,429,250	3,554,099
投資有価証券	1,446,391	1,085,661	1,227,639
差入保証金	1,838,417	1,760,024	1,728,480
その他	811,279	794,533	812,303
貸倒引当金	148,687	210,968	214,323
資産の部合計	24,915,977	24,963,078	25,290,770

- (注)
1. 子会社に対する短期金銭債権 162,586千円
 2. 子会社に対する短期金銭債務 96,787千円
 3. 有形固定資産の減価償却累計額 5,902,383千円
 4. 中間貸借対照表に計上した固定資産の他、リース契約により電子計算機等を使用しております。
 5. 輸出受取手形割引高 991千円
 6. 担保に供している資産
 - 受取手形 47,826千円
 - 固定資産 5,517,614千円
 - 投資有価証券 621,781千円
 7. 保証債務 30,000千円
 8. 重要な外貨建資産 子会社出資金 5,000千米ドル (497,812千円)
 9. 1株当たり中間(当期)利益(損失) 4円91銭

(単位：千円)

期別 科目	前期中間 (平成13年5月31日現在)	当期中間 (平成14年5月31日現在)	前期末 (平成13年11月30日現在)
(負債の部)			
流動負債	7,411,538	6,604,212	7,762,225
支払手形	3,108,241	3,318,758	3,591,123
買掛金	592,712	531,553	653,875
短期借入金	950,000	650,000	650,000
1年内返済予定長期借入金	1,746,000	1,067,796	1,746,000
未払金・未払費用	702,573	704,735	762,905
未払法人税等	16,694	18,943	33,895
未払消費税等	41,324	58,558	53,871
返品調整引当金	211,000	185,000	225,000
その他	42,991	68,866	45,553
固定負債	2,299,692	3,029,484	2,357,690
長期借入金	1,926,000	2,445,755	1,828,000
退職給付引当金	168,529	348,291	336,610
その他	205,163	235,438	193,080
負債の部合計	9,711,230	9,633,697	10,119,915
(資本の部)			
資本金	4,917,652	4,917,652	4,917,652
法定準備金	7,737,336	7,656,769	7,656,769
資本準備金	6,507,923	6,427,356	6,427,356
利益準備金	1,229,413	1,229,413	1,229,413
その他の剰余金	2,658,739	2,736,180	2,840,229
任意積立金	2,627,624	2,614,210	2,627,624
中間(当期)未処分利益	31,114	121,970	212,604
(中間(当期)利益(損失))	(135,029)	(51,237)	(46,460)
その他有価証券評価差額金	108,981	78,494	243,631
自己株式	-	59,715	165
資本の部合計	15,204,746	15,329,381	15,170,854
負債及び資本の部合計	24,915,977	24,963,078	25,290,770

- (注)
1. 当期中間 167,544千円
 2. 前期末 171,560千円
 3. 当期中間 64,712千円
 4. 前期末 67,021千円
 5. 当期中間 6,122,821千円
 6. 前期末 5,969,099千円
 7. 当期中間 983千円
 8. 前期末 -千円
 9. 当期中間 18,258千円
 10. 前期末 35,057千円
 11. 当期中間 5,452,830千円
 12. 前期末 5,480,704千円
 13. 当期中間 548,468千円
 14. 前期末 369,209千円
 15. 当期中間 -千円
 16. 前期末 30,000千円
 17. 当期中間 5,000千米ドル
 18. 前期末 5,000千米ドル
 19. 当期中間 (497,812千円)
 20. 前期末 (497,812千円)
 21. 当期中間 1円95銭
 22. 前期末 1円71銭

中間損益計算書 (自 平成13年12月1日 至 平成14年5月31日)

(単位：千円)

科目	期別	前期中間	当期中間	前 期
		自平成12年12月1日 至平成13年5月31日	自平成13年12月1日 至平成14年5月31日	自平成12年12月1日 至平成13年11月30日
経常損益の部	営業収益	8,143,670	8,759,509	16,736,346
	売上高	8,143,670	8,759,509	16,736,346
	営業費用	8,048,928	8,444,939	16,356,754
	売上原価	4,608,109	4,882,671	9,423,565
	販売費及び一般管理費	3,440,818	3,562,267	6,933,188
	営業利益	94,741	314,570	379,591
営業外損益の部	営業外収益	111,022	39,838	134,821
	受取利息及び配当金	45,782	6,327	63,209
	その他	65,239	33,511	71,612
	営業外費用	96,351	92,329	180,283
	支払利息	59,142	56,500	114,929
	その他	37,209	35,829	65,354
経常利益	109,412	262,079	334,129	
特別損益の部	特別利益	71,003	-	571,004
	特別損失	298,750	294,373	824,778
税引前中間(当期)利益(損失)	118,334	32,294	80,356	
法人税、住民税及び事業税	16,694	18,943	33,895	
中間(当期)利益(損失)	135,029	51,237	46,460	
前期繰越利益	166,143	173,207	166,143	
中間(当期)末処分利益	31,114	121,970	212,604	

(注) (前期中間) (当期中間) (前 期)

1. 子会社との取引高

有償支給高	223,437千円	224,162千円	444,400千円
仕入高	419,357千円	445,768千円	692,165千円
業務委託料	323,114千円	312,427千円	653,655千円
営業取引以外の取引高	37,470千円	12,451千円	42,057千円

2. 消費税等の会計処理については税抜方式によっております。

株式の状況 (平成14年5月31日現在)

発行する株式の総数 75,881,000株

発行済株式の総数 26,406,489株

自己株式の取得、処分等および保有 (平成13年12月1日～平成14年5月31日)

①取得株式 商法第210条第1項の決議による取得 普通株式 405,000株
取得価額の総額 58,619千円
単元未満株式の買取りによる取得 普通株式 6,563株
取得価額の総額 931千円

②処分株式 0株

③失効手続きをした株式 0株

④中間期における保有株式 412,696株

中間期末株主総数 5,442名

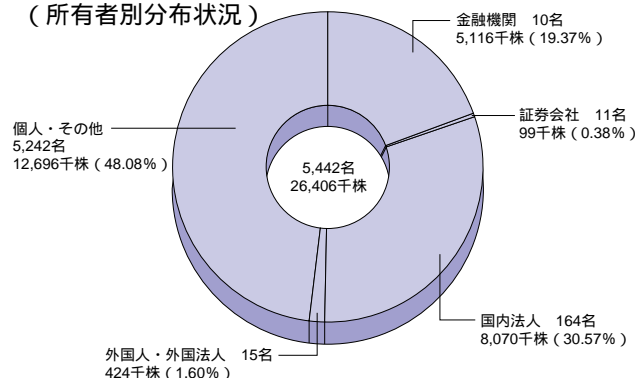
大株主

株主名	持株数	持株比率	当社の当該株主への出資状況	出資比率
セネシオ有限会社	2,593,000株	9.82%	株	%
株式会社UFJ銀行	1,204,119	4.56		
株式会社みずほコーポレート銀行	1,105,895	4.19		
日本生命保険相互会社	717,863	2.72		
シキボウ株式会社	689,850	2.61	377,000	0.36
株式会社大和銀行	616,518	2.33		
株式会社東京ピオ	479,000	1.81		

(注) 1. 当社は株式会社UFJ銀行の持株会社 株式会社UFJホールディングスへ出資 (持株数 351株、0.01%) しております。
2. 当社は株式会社みずほコーポレート銀行の持株会社 株式会社みずほホールディングスへ出資 (持株数 522株、0.01%) しております。
3. 当社は株式会社大和銀行の持株会社 株式会社大和銀ホールディングスへ出資 (持株数 126,000株、0.00%) しております。

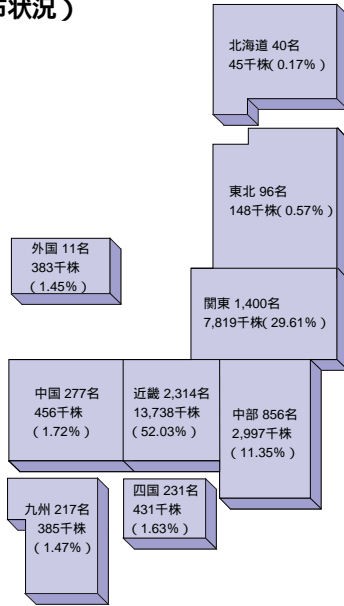
株式分布状況

(所有者別分布状況)

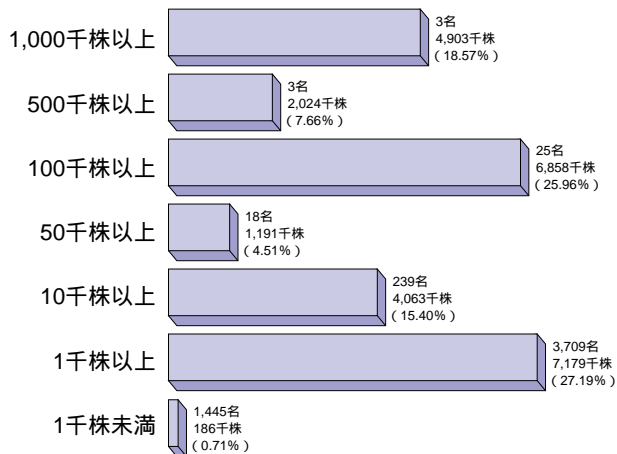


役員 (平成14年5月31日現在)

(地域別分布状況)



(所有株数別分布状況)



取締役会長 (代表取締役)	盤 若 富美子
取締役社長 (代表取締役)	坂 井 隆
専務取締役	櫻 井 紘 哉
常務取締役	内 山 公 司
取締役	加 宮 義 人
取締役	名 取 勇
取締役	盤 若 智 基
常勤監査役	有 吉 克 之
常勤監査役	門 馬 寛 巳
監査役	田 中 聡

会社の概要 (平成14年5月31日現在)

設 立 昭和22年6月

資 本 金 4,917,652,803円

主要な事業内容

当社は、メンズカジュアルウェア中心のアパレル企業として、セーター、ニットシャツ、アウター、布帛シャツ、スラックス、その他洋品雑貨等の製造・販売ならびにこれらに関連した貿易を営んでおります。

所在地

- 大阪本社(本店) 〒541-0059
大阪市中央区博労町二丁目3番9号
- 東京本社 〒143-0006
東京都大田区平和島五丁目1番1号

従業員の状況

男性 210名 女性 52名 合計 262名

(注)従業員数には子会社への出向者29名、および臨時雇用者451名は含まれておりません。

株主メモ

決 算 期	11月30日
配当金受領株主確定日	株主配当金 11月30日 中間配当金 5月31日
定時株主総会	2月中
基 準 日	11月30日(そのほか、必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めることがあります。)
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お 問 合 せ 先	東京都江東区佐賀一丁目17番7号(〒135-8722) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)3642-4004(大代表) 専用ダイヤル 0570-000324
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほアセット信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第一部